

みちづくし in 九州 2010



11月5日(金) - 11月6日(土)

大会テーマ

つながる道守 ひろがる道守



会場：福岡市役所 15階 講堂

開催レポート

日程

11月5日(金)

第一部 交流会

◇ オープニング
スライドショー

◇ 基調講演
「古代官道、西海道—1300年前の高速道路を観る—」

講師
NPO鴻臚館・福岡城跡歴史・
観光・市民の会理事長
石井 幸孝 氏

◇ 九州各県 道守報告

◇ パネルフロアディスカッション

登壇者 道守ふくおか会議 代表世話人
安立 清史 氏

道守長崎会議 事務局長
阿野 史子 氏

道守みやざき会議 世話人
日高 晃 氏

道守大分会議 事務局長
木ノ下 結里 氏

九州地方整備局 道路部長
野口 宏一 氏

◇ 大会宣言

第二部 交流集会

◇ 道守屋台

11月6日(土)

◇ 現地体験学習会

博多まちあるきコース
天神まちあるきコース
柳川旧小路まちあるきコース



主催、来賓挨拶の方々



九州各地から集まった道守さんたち

大会参加者

交流会：307名

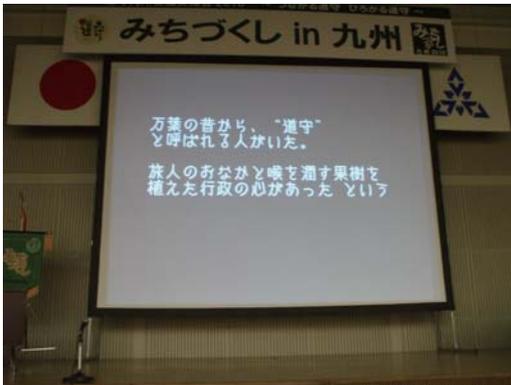
交流集会：240名

体験学習：80名

九州各県 道守報告

話題盛りだくさん。各県の道守活動を報告

これまでの道守さんたちをスライドショー上映



福岡県 ひとの心まで清める ～グリーンバードの今昔～



NPO法人 グリーンバード
福岡チーム代表 木下 真裕 氏

「街を汚すことはカッコ悪い」をメッセージに道守九州会議発足と同年にできたNPOプロジェクト。

今では、定例活動の「街と心の美化活動」に加え、街づくり大学の開講や打ち水活動、グリーンバード農園までつづっています。

若者が入りやすい環境作りとしてプロジェクトを文化祭のように仕立て、長所（できること）を伸ばして、エネルギーを活動に変えて活動層の中心に持ってきています。

夢は、グリーンバードがいなくてもきれいな街になること。

「きれいな街は人と心をきれいになる。」グリーンバードの活動コンセプトです。

佐賀県 おもてなしの“佐賀城下ひなまつり清掃活動”



道守佐賀会議 世話人
渋谷 里美 氏

清掃活動のきっかけは、「佐賀城下ひなまつり」の前に行われる「佐賀城下ひなまつりウォーク」。

毎年、2月中旬から3月下旬にかけて行われるこのお祭りに訪れる10万人以上の方をおもてなしの心でお迎えしようと道守会議結成の翌年から清掃活動を始めました。

参加者からは、歩いてみて歴史が感じられるようになった、清掃して気持ちよくなったと好評で、活動開始当初は、50名程度だった参加者も今年は100名を超えるようになりました。

長く続けられた秘訣は官民の協力です。これからはさらに地域の公民館とも連携をとり、活動の幅を広げたい。

熊本県 道守花壇に携わって



NPO法人ネット八代 代表
岡田 敏代 氏

平成16年の第三セクター肥薩オレンジ鉄道の誕生と同時に許可されたNPO法人ネット八代。

同時に八代駅の業務、運営も任せられることになり、開業時のイベントでは、開業ウォークを開催し、2000人以上の人出で賑わいました。道守くまもと会議の「道守花壇」にも参加して、駅の周りも花でいっぱいです。

「道守花壇」は、県内に31か所あり、熊本の道を地域の方で美しくする市民花壇です。花壇の整理する人の個性もでてきて色々な花壇ができています。

今後の問題として苗の供給問題がありますがさまざまな工夫をしながらこの活動を守っていきます。

長崎県 継続は力！年間100回の環境美化活動



環境美化を考える会 代表
田口 昭子 氏

環境美化を考える会は、長崎県西海市と西彼半島を結ぶ大島大橋開通を機に結成し、今年で11年目になります。

当初17名だった会員も今では114名になり、年間の活動回数も100回を超えるようになりました。会員には1ターン移住者もおり、ボランティア活動が仲間づくりの場にもなっています。

長年の活動が功を奏して、伐採した樹木を粉砕する粉砕機、粉砕した樹木にEM菌を入れ攪拌してEMぼかしをつくるEMぼかしづくり用攪拌機も市や企業から贈呈されました。

苗から育てた桜も街の並木に咲くようになりました。

道を守り続けていくことは、私たちの願いです。

宮崎県 夕日の里と道（おかえりなさい心のふるさと五ヶ瀬町）



夕日の里づくり推進会議 会長
後藤 福光 氏

九州の真ん中・おへそに位置する宮崎県の五ヶ瀬町。

17年前は、離合のできない舗装の道路と公共施設は小学校のみの閉鎖感の漂う町でした。その何もないのを逆手にとって「開発なき開発。開発すべきは住民意識」と35名の仲間が集まり、夕日をシンボルに活動を始めました。

夕里フェスタや農村民泊を行い続けるうち徐々に住民の自立と参画意識が芽生えるようになりました。

夕日の里クリーン作戦では、25社の県道の除草をボランティアで行い続け、全線二車線化という改良工事の原動力にもなりました。

都市部の方から苗木のオーナーになってもらい道路に桜やあじさいの植栽をして交流を深めるようにもなりました。

地域づくりは道路を守り、整え、作り、生かすことから。もう閉鎖感はありません。

大分県 きつき並木街道百人衆～10年を振り返って～



きつき並木街道百人衆 元会長
真砂 勉男 氏

坂道の城下町杵築市に樹木を植えることになったのは、移住してきた歌手の南こうせつさんが夫婦で空き缶拾いを始めたことからです。

この活動が広がり、年に一回一人1万円を10年間集めて樹木など買って活動をしようという108人が集まってきつき並木街道百人衆を結成。

樹木を植えるのはできないが、剪定は自分たちでやると行政に相談。行政側も熱意に動かされると植栽をやってくれるようになりました。

10年経った今年2月、残った活動資金を行政に寄付して解散しました。

行政にたよりながらもできることはやっていくと思いを新たにしています。

鹿児島県 ふるさとの思い15年



荷馬車組合 久保 信一 氏 会長 前田 健治 氏

鹿児島県北部の薩摩川内市で活動している荷馬車組合は、会員数15名の団体ですが、ボランティア活動などを行うときは、たくさんの方が賛同して参加してくれました。

道路だけではなく、河川の清掃も行って、年末年始には、国道横には巨大な干支わら人形を作り続けて15年。今では、川内の名物になっています。

今後も地域活性化をめざし、イベント参加の協力、ボランティア活動の継続をしていきます。

基調講演

古代官道、西海道—1300年前の高速道路を観る—

NPO 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会理事長 石井 幸孝 氏

平成20年に国土交通省が実施した「新たな公」のコミュニティ創生支援モデル事業の一つとして行われた「市民参加の古代官道調査・活用事業」の結果をもとに、世界の道の歴史から古代官道の生き様、ハイウェイ古今東西など、道路の今昔についての講話がありました。

フィールドワーク（市民ウォーキング）やフォーラムで福岡の鴻臚館を起点する古代官道・西海道を検証した結果、警固断層に沿って作られていることや1300年前の官道が、現在の主要交通網ルートとほぼ変わらないことも紹介されました。

さらに道守さんたちに対して、古代官道を九州発の古くて新しいテーマとしてブームを巻き起こし、地域活性化に生かすことの提案がなされました。



パネルフロアディスカッション

～これまでの道守 これからの道守～

コーディネーター 安立 清史 氏
 パネリスト 阿野 史子 氏
 日高 晃 氏
 木ノ下結里 氏
 野口 宏一 氏

パネルフロアディスカッションでは、今までの道守を振り返りながら、これからの道守についてみんなで考えてみました。



安立氏 野口氏



阿野氏 木ノ下氏 日高氏



亀野氏



中条氏



大山氏

会場から

これまでの道守で見てきた問題点は2つ。運営資金難と若手の不足。資金難を解消するために長崎ではNPOを立ち上げ、宮崎では企業協賛でみちづくし運営をしました。大分からは、若手不足解消としてカリスマ性のある人材を育てることが提案されました。こうした中、道守さんは道が市民の共通の資産であることに気づき、身近な活動をほどほどの規模でゆるやかなネットワークの中で成り立っている。みちづくしは、情報交換の場として、問題を共有し、解決の糸口を見つける場になっていることも確認しました。

これからの街づくりは、市民としての誇りある町を作ろうという「シビックプライド」がキーワードになるがそれは道守活動そのものだというフロアからの意見もありました。

今までの日本社会は上下関係の強いタテと誰かがやらないと始まらないヨコのみの関係でやってきました。しかしこの構造ではもろい。これを強化するにはナナメの存在が必要であり、道守は、その役割を大いに果たしていきましょうというまとめになりました。このみちづくしの一日の中でもらった言葉を明日からの行動に移せそうです。



宮崎 佐賀 福岡 福岡 大分
 矢野さん 福山さん 花井さん 山田さん 桑野さん
 熊本 岡田さん

大会宣言



- 一、私たちが道守は、道守活動を通じ、**「美しい心豊かな暮らしの実現に貢献」**します。
- 一、私たちが道守は、世代を超えた道守活動の輪を広げ、**「豊かな地球コミュニティの持続に貢献」**します。
- 一、私たちが道守は、地球と地域の交流、連携の輪を広げ、**「賑わいのある街の創出に貢献」**します。
- 一、私たちが道守は、道守活動を通じ、道守の心の伝承し、**「次世代を担う心豊かな人材の育成」**に努めます。
- 一、私たちが道守は、「新たな公」の一員として、協働を通じ、**「私達のふるさとづくり、そして九州づくりに貢献」**します。

大会宣言する各県の世話人さん達

交流集会 (道守屋台)

道守屋台では、各県の道守自慢を披露。大盛会でした。それぞれの県がいろいろな賞を受賞。最優秀賞は道守長崎会議に決定！！



玄関から福来たるで賞(ふくおか会議)



環境を守っていきま賞(佐賀会議)



がんばろう! 宮崎賞(みやざき会議)



花壇で心和む道で賞(くまもと会議)



元祖道守屋台賞(長崎会議)



活動も豊で賞(大分会議)



手作りマップで歩きま賞(かごしま会議)



最優秀賞の長崎会議ブース



来年開催予定の佐賀会議へ引き継ぎ

現地体験学習会

6日(土)は、天神、博多、柳川で街歩きを体験。天神ではけやき通りに花を植えました。博多では、神社・仏閣を歩いて歴史を感じました。柳川では川を下りながら、街の風情を見ました

天神

国体道路沿線探索、花植体験コース

博多

博多の歴史探訪まち歩きコース

柳川

川下りと旧小路まち歩きコース



けやき通りに花を植栽



古代官道と現道を再確認



柳川の道づくりを案内板で知見



通り名案内の使い方を説明



博多塀と江戸の道を見聞



川の道を体感